2025年7月1日 / / 総生会ロイヤルホーム / / 第148号

ROYAL-TIMES

4Fの庭園 紫陽花(2025年6月2日)＝ロイヤルホーム

梅雨っぽさ

池上 真理子
2025年7月14日

しとしとと長く降り続く雨こそが「梅雨」だと考えるのは、もはや時代遅れなのかもしれません。最近では、短期間に猛烈な雨が降って、あっという間に梅雨が明ける――そんな年も珍しくなくなりました。

しかも今年は、6月なのに30度を超える日が続き、体がついていくのも一苦労です。

そんな中、今年から熱中症予防対策が企業の義務になりました。水分や塩分の補給が「仕事の一部」となるなんて、時代は大きく変わっています。

20年前に、今のような毎日を想像できたでしょうか？

さて今月は、先日おこなった「七夕レク」と「ファミリーランチ」の様子をお伝えします。ご一読いただけたら幸いです。

フルーツポンチ：葡萄、パイン、ミカン等のフルーツにサイダーを注いでいる場面（2025年6月11日）=ロイヤルホーム

2Fにて七夕飾りを実施、今回は麻生総合病院看護部 日極(ひづめ)顧問に企画・参加していただきました (2025年 6月 27日)＝ロイヤルホーム

七月七日と願い事

高橋　望
2025年7月11日

７月７日は七夕。当ロイヤルホームでも、例年通り入居者の皆様と共に、季節の行事を静かに楽しみました。今年は受付カウンターに笹を設置し、入居者の皆様に短冊へ願い事を書いていただくこととなりました。

笹の作成には、当院看護部の日極（ひづめ）顧問にも企画段階から参加していただき、職員と共に準備を進めました。色とりどりの短冊をご用意し、集まっていただいた入居者の方々は、それぞれの願いを丁寧に書き記し、職員と一緒に笹へ飾り付けを行いました。「元気に過ごせますように」「家族とまた会えますように」「世界が平和でありますように」など、一つ一つの短冊には温かい思いが込められています。

飾り付けが進むにつれ笹は色鮮やかに彩られ、通る人の目を楽しませ、心を和ませてくれました。入居者同士で願い事を見せ合ったり、「小さい頃は川のそばで笹を拾ってきたのよ」と懐かしい思い出話に花を咲かせたりと、短冊作りのひとときは穏やかで優しさに包まれた時間となりました。

笹は受付前に設置され、通りかかる方々も思わず足を止め、「きれいね」「願い事が個性的で面白い」と笑顔を見せておられました。

このような小さな行事であっても、季節の移ろいを感じ、心の豊かさを育む大切な機会です。これからも職員一同、入居者の皆様が日々の暮らしの中で、ささやかな喜びや楽しみを見つけていただけるよう、心を込めて寄り添ってまいります。

今月のトピック

■七月七日と願い事　■ファミリーランチ　■今季のレクリエーション　■委員会報告(合議体制の始動)

ROYAL-TIMES

ファミリーランチ

岡　聖史
2025年 7月 14日

ロイヤルホームでは毎月、「ファミリーランチ」と題して、季節感を取り入れた食事イベントを開催しています。今回は6月18日に1階ラウンジで実施し、メインディッシュには「ローストビーフ」をご用意しました。ご入居者様は職員の案内で笑顔で会場にお越しになり、思い思いの席に着かれました。お席は仲の良い方同士の場合もあれば、初めての方とご一緒になることもあり、自然な交流が生まれる場にもなっています。また、ご家族も参加できるイベントであるため、当日ご家族様が来場すると雰囲気がかわります。「これから何があるの？」と不安を口にされるご入居者様もいらっしゃいましたが、「もうすぐお食事ですよ」と声をかけると、「まあ、美味しいものかしら」と笑顔が戻る場面も見られました。「こんなに食べられるかしら」とおっしゃいながらも、気づけば完食されていた方もいらっしゃり、ご家族と過ごす時間が食欲につながったのかもしれません。一方で「少し硬かった」とのご意見もいただいておりますので、今後の食事内容の参考とさせていただきます。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。次回もお楽しみいただけるよう準備を進めてまいります。

ファミリーランチの様子 本日はローストビーフ（2025年6月18日）=ロイヤルホーム

今季のレクリエーション

6月・7月には、フルーツポンチ、生け花、たこ焼き作り体験、七夕飾り、シャトレーゼへのお買い物、ファミリーランチなどのイベントを実施しました。また、7月16日には「夏祭りランチ」を開催予定です。さらに、8月にもランチイベントを企画しております。

ランチイベントにはご家族様にもご参加いただけますので、ぜひご一緒にお楽しみください。

4F庭園トマト(2025年6月27日)=ロイヤル

VOICE

2025年7月4日

・皆様、暑い日々が続きますが、体調を崩したりされておりませんか？私ども介護職員もご入居者様の体調の変化に注意し、安心してお過ごしいただける様、日々、皆様のお手伝いをさせていただいております。皆様から「ありがとう」というお言葉を頂戴できるのが、何よりも仕事の励みになる毎日です。

・皆様こんにちは。ロイヤルホームに勤務し7年が経ちました。入職当初は分からない事が多くありましたが、他の職員やご入居者様のおかげで現在に至っております。自分でも資格を取り、この仕事にやりがいを感じています。今後も精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

振り返り

岡　聖史
2025年 7月 1日

税金は社会保障に直結しているお金です。医療費 40 兆円越えのうち 50%程は保険料に、残りの 40%程は税金で成り立っています。国民が消費税を軽減してほしいと思うのは当然ですが、それは自身が利用する医療介護サービス費を削ることに繋がります。日本は予算の 15%程を医療介護に投じていますが、それでも足りていないのが現状です。国民一人ひとりが生涯健康を実現し、生活習慣病が大幅に減らせれば減税が可能になるかもしれません。しかし、今の生活習慣を変えたくないと思う人が多ければ多いほど、医療費は減らせそうにありません。皆さんは行動変容できますか?

活動報告（合議体制）

岡　聖史
2025年　7月　14日

ロイヤルホームでは、組織運営における意思決定の方法として「合議体制」を導入しています。これは、課題について関係者が協議し、合意形成を経て意思決定を行う仕組みです。
以前は、運営の各機能ごとに委員会を設け、報告・データ整理・情報共有なども含めた活動を行っていました。しかし、会議のたびに職員の勤務を調整する負担が大きくなってきたという課題がありました。そこで、従来の委員会活動の中でも特に「人が集まって意思決定する」というプロセスのみを切り出し、月に1回の「合議体制」に集約します。
この合議体制では、現場を動かす中心である係長・主任などの中堅職員が主体となり、具体的な問題解決を行います。管理監督者は助言や承認といった補助的な役割に徹することで、現場に近い目線での柔軟な対応が可能になっています。

1Fカウンターの七夕飾り(2025年6月27日)=ロイヤル